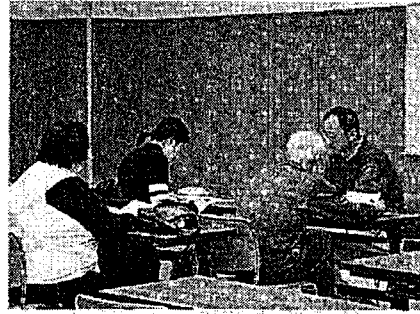


「漢字が読めるように」

函館 遠友塾 2期生説明会



遠友塾の授業内容について説明を受ける参加者

戦争や病気などで十分な教育が受けられなかった人たちが学ぶ道南初の自主夜間中学「函館遠友塾」(今西隆人代表)の2期生向け説明会が18日、函館市総合福祉センターで開かれた。

今年4月に開校した同塾の2期生は来年4月に入学予定で、説明会には4人が参加。裁

判員制度をテーマにした1期生の社会の授業を見学した後、今西さんから入学受け付け票を受け取り、勉強内容や入学式について説明を受けた。

アサ子さん(68)は「弟のお守りで小学校3年生から学校に行けなかった。漢字が読めるようになりたい」と話していた。

遠友塾は毎週水曜日午後5時20分から同センターで授業を行っている。見学は随時可能。問い合わせは今西さん 080・5598・5608(平日午後4時〜午後8時)へ。(伊藤美穂)